

目次

- ヒロシマ平和の灯のつどい（報告）・・・・・・・・・・1
- 日本女性会議 2017 とまこまい（報告）・・・・・・・・・・2
- 核兵器禁止条約交渉会議への日本政府参加要請はがき配布行動（報告）・・・・・・・・・・3
- 「女性に対する暴力をなくす運動」街頭キャンペーン（報告）・・・・・・・・・・3
- 広島市女性団体連絡会議（ひろしまWENET）からのお知らせ・・・・・・・・・・4

(報告)

ヒロシマ平和の灯のつどい



原爆犠牲者の冥福を祈り、核廃絶、恒久平和の実現を願う「ヒロシマ平和の灯のつどい」を7月31日に平和記念公園で開催しました。19回目となる今年、国内外の観光客や市民など約100人の参加がありました。

カザフスタン共和国からの留学生ディズナル・エレウシゾワさんと高校生平和ゼミナールのメンバーが「平和の灯」から採火。その灯が分火されたくそくを手に参加者は黙祷を捧げ、旧ソ連の核実験を止めた歌「ザマナイ」の流れる中、原爆死没者慰霊碑を中心に平和記念公園内を静かに行進しました。

今回は被爆者の証言を聞く会を、語り部の中西巖氏を招いて、平和記念資料館東館（地下1階会議室1）で開催しました。大人から子どもまで約50人が参加し、中西氏の体験談に耳を傾けていました。

＜中西巖氏の証言＞

『原爆は人間に何をしたか』その真実を未来に語り継ぐ責務がある」と話されました。

「15 歳の中学生だった時、爆心地から 2.7 kmの陸軍被服支廠（出汐二丁目）で被爆しました。8 時 15 分ピカーッと光を感じたと同時に何分間か気を失っていました。意識が戻ったが辺りは暗く、その中から多くの助けを求める声が聞こえました。殆どの方が血を流し、火傷などで何が起きたのか大混乱でした。私は頑丈な建物の陰で無傷でしたので、介護や偵察などの作業をさせられました。道端や御幸橋は、負傷者が座り込んでおられ、「助けてくれ、助けて」などのうめき声、少年にすがりつかれてもどうする事も出来なかった。夕方、向洋の自宅に辿り着きました。母や妹たちは、私が助かったと泣きながら喜んでくれました。とにかくおそれなく皆で近くの山の森の中に避難をしました。遠く広島の方の海を見ながら一夜を過ごしました。



中学生時代の中西氏

当時 35 万人の市民のうち 14 万人もの方々が亡くなりました。私は幸運にも生きのびることが出来ました。しかしあの日、助けを求めた人々に何も出来なかった申し訳無さ、痛ましい惨状の記憶は消えることはありません。放射線障がいへの不安は今もありますが、あれから 72 年、無事に過ごさせて頂けたのは、尊い犠牲の上に得られた平和のお陰であり、母の愛と多くの方との心の触れ合いや支えがあったからだと思います。感謝と共に命ある限り平和のために微力を尽くさなくてはと考えております。」（要訳）

私たちは平和の実現に向けて、一人ひとりが行動し、核兵器の非人道性を告発してきた被爆者の声に耳を傾け、絶えず心に留め、考え、真実を未来に語り継がねばなりません。

（学習部 北 節子）

（報告）

「日本女性会議 2017 とまこまい」に参加して

第 34 回を迎えるこの会議は、「北の大地で語ろう これからの未来」をテーマに 10 月 13 日から 15 日までの 3 日間、北海道苫小牧市の市民会館で開催され、全国各地から 2,000 名、広島県からは 10 名が参加しました。

岩倉博文苫小牧市長の歓迎のあいさつに続いて、書家の金澤泰子さんが、ダウン症という障がいを持って生まれた娘翔子さんを産み育て、共に生きてきた経緯について講演。翔子さんの揮毫「共に生きる」を鑑賞し、「ちがいはかけがえのない個性」との思いを共感しました。

武川恵子内閣府男女共同参画局長の「未来を拓く女性の活躍」についての基調報告の後、おなじみの女優渡辺えりさんが「夢見る力～つながる幸せ～」と題する記念講演で「誰もがいきいきと暮らせるヒント」をテーマに話をされました。

2 日目午前中は分科会、午後は報告会と総仕上げのシンポジウム等が行われました。シンポジウムのコーディネーター神田道子元国立女性教育会館理事長は「男女平等共同参画社会の実現には、市民・団体・企業・行政がそれぞれの役割を認識し、責務を果たし、相互に連携することが重要」と提言されました。期間中、苫小牧市はシンボルカラーのオレンジ色に染まり、青空のもと、思い出に残る有意義な大会となりました。



（寄稿 広島県の男女共同参画をすすめる会 副会長 宮本幸子）

(報告)

核兵器禁止条約交渉会議への日本政府の参加要請ハガキ配付行動

2017年3月に行われた核兵器禁止条約交渉会議第1回交渉には、日本政府は「唯一の被爆国」として核廃絶を唱えながら、「核保有国と非保有国を分断するものだ」として参加せず、核廃絶を願うヒロシマの願いは届けられませんでした。

第2回交渉を前に日本政府は再び「不参加」を表明しました。私たちは、被爆地ヒロシマで活動する女性団体として、日本政府は交渉会議に参加し、核保有国と非核保有国の橋渡し役を担い条約制定のため重要な役割を担ってもらうよう、安倍首相宛てに交渉参加を求めるハガキ600枚を作成し、各団体に配布また街頭で一般市民に協力を呼びかけました。

6月11日(日)小雨模様の中、会員10人が参加し、八丁堀交差点福屋前で14時前から約1時間、「62円切手をはって安倍首相に私たちの声を届けましょう」とハガキ行動の協力をマイクで訴えながら、約250枚のハガキを配布しました。横断幕を横目で見ながら過ぎ去っていく人、無関心で見向きもしない人もいましたが、中には「さっき向こうで署名もしてきました」とハガキを受け取って下さる方、私たちの方に近づいて受け取って下さる方もおられ、励まされました。

6月15日より7月7日まで核兵器禁止条約交渉会議第2回交渉が再開されました。7月7日、核兵器禁止条約は122か国の賛成で採択されましたが、残念なことに、日本政府はこの交渉会議と署名式には参加しませんでした。

日本政府に対し、「唯一の被爆国」である日本が核保有国と非核保有国の橋渡し役として、国連に加盟するすべての国による実現性のある核兵器の法的禁止が実現するよう、今後とも、ヒロシマから訴えていきましょう。



八丁堀交差点福屋前ハガキ配付行動

(広報部 貴田月美)

(報告)

「女性に対する暴力をなくす運動」キャンペーン

暴力は、その対象の性別や加害者、被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありません。

特に、配偶者からの暴力、性犯罪、売買春、人身取引、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に関する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成する上で克服すべき重要な課題となっています。

国は、毎年11月12日から25日までを「女性に対する暴力をなくす運動」と定め、意識啓発を図っています。

この運動の一環として、広島市、国際ソロプチミスト広島-中央、ひろしまWENETが連携して市民への街頭キャンペーンを実施しました。11月13日にJR広島駅南口広場、25日に八丁堀交差点周辺にて、それぞれ約20人で、このキャンペーンの概要や相談窓口などが書かれたチラシ、ポケットティッシュ等を道行く皆さんに配布しました。若い学生や、お年寄りの方も受取られ関心を寄せてもらえました。



JR広島駅南口広場での街頭啓発

(学習部 宮田保江)

広島市女性団体連絡会議（ひろしまWENET）からのお知らせ

平成 29 年度 広島市女性団体連絡会議 役員紹介

役 職 名	氏 名	団 体 名
会 長	山本 紀子	アルコ・デ・ヒロシマ
副 会 長	宮田 保江	安芸コスモスゾントクラブ
副 会 長	平木 久恵	アルコ・デ・ヒロシマ
書 記	北 節子	(一法)広島市母子寡婦福祉連合会
書 記	貴田 月美	I 女性会議 広島支部
会 計	横光 美里	2000+17・平和
会 計	藤永 雅子	広島市未来を考える女性の会
学習部会長	西村 宏子	2000+17・平和
啓発部会長	中嶋 典子	Human & Network 宙
広報部会長	澤野 道子	安芸コスモスゾントクラブ
監 事	中平 吉子	広島市地域女性団体連絡協議会
監 事	上野 早苗	国際ソロプチミスト広島

◆ 山本紀子新会長就任の挨拶 ◆

私が広島市女性団体連絡会議（ひろしまWENET）に関わり始めたのは 2000 年頃からだと思います。

1995 年北京で開催された世界女性会議に広島から参加。女性の地位向上、ジェンダー、エンパワーメントなどの言葉が新鮮に響き、そして男女共同参画という言葉が生まれた頃でした。広島市婦人教育会館（現在の「ゆいぽーと」）に集う女性たちは男社会の現実にもがいていた鎖から解放される、私たちの活動で男女共同参画社会が実現できると、目を輝かせて婦人教育会館へ通いました。

最近の「ゆいぽーと」は子育て中のパパやママの姿をよく見かけます。20 年前は見られない光景です。女性たちの地道な活動が男女共同参画社会を少しずつ押し上げているのでしょう。

されど、今回の衆議院選挙、当選者の約 90% は男性、男女共同参画社会の道のりの遠さを見せつけるものでした。

WENET の活動の目的は次世代の女性たちが輝いて活動できる社会、男女共同参画社会の実現です。しなやかに、ひるむことなく各団体と結びあって歩んでいきたいと思います。



まとめ知識 ～あなたの夫はどのくらい家事をしていますか？

- ・ 問 い : あなたの家庭では、夫は 1 日のうち平均どれくらいの時間を家事（掃除や洗濯、炊事、子育て、介護など）にあてていますか？
- ・ 回 答 : 男性の回答 : 1 日(平日)あたり平均 57 分 妻からみた夫の家事時間 : 1 日(平日)あたり平均 45 分
(平成 28 年度広島市市民意識調査報告書より)

お知らせコーナー

◆ 男女共同参画セミナー

日 時 : 2018 年 2 月 24 日 (土) 13 時 30 分～16 時
場 所 : まちづくり市民交流プラザ (中区袋町 6-36) 北棟 5 階 研修室 A・B
講 師 : 河口和也さん (広島修道大学人文学部教授)
テーマ : 「ありのまま自分らしく生きる」 ～セクシュアル・マイノリティの人権について考える～

◆ 2018 国際女性デーひろしま

日 時 : 2018 年 3 月 10 日 (土) 12 時～15 時 10 分
場 所 : ゆいぽーと (広島市男女共同参画推進センター) 5 階 研修室
テーマ : 「核兵器禁止条約全力応援！」

WENET ニュース第 44 号 2017 年 11 月発行
発行者 広島市女性団体連絡会議 (広島市市民局人権啓発部男女共同参画課気付)
責任者 山本 紀子